

Société
Franco-Japonaise
de Philosophie

日仏哲学会

会報 72号 2014年2月20日

☆ 2014年春季研究大会のプログラムが下記のとおり決定いたしました。

(プログラムはHPにも掲載いたします。)

日時：2014年3月29日(土) 9時40分～17時

会場：京都大学吉田キャンパス・文学部校舎(文学部新館) (詳しくは別紙マップを参照)

- ・一般研究発表：

A会場	第4講義室	(8階建ての建物の2階)
B会場	第6講義室	(同上)
C会場	第7講義室	(同上)
D会場	第5講義室	(同上)
- ・シンポジウム 第1・第2講義室 (別棟2階建ての1階)
- ・理事会・編集委員会 第3演習室 (8階建ての建物の2階)
- ・会員控え室 第2演習室 (8階建ての建物の2階)

懇親会

日時：18時～20時

場所：カンフォーラ (http://www.s-coop.net/shop/info/yoshida_head/camphora/)

会費：一般5000円/学生3000円

タイムスケジュール

1. 一般研究発表

A会場(第4講義室)【司会：①②山田弘明、③④宮崎裕助】

① 9時40分 - 10時20分

橘 英希「マルブランシュにおける自然学と形而上学」

② 10時20分 - 11時00分

中村啓介「モノダの影」

(休憩)

③ 11時10分 - 11時50分

松田智裕「開かれていることの際限のなさ

——デリダのフッサール解釈における「開放性」の問題」

④ 11時50分 - 12時30分

福田 肇「献身」と「昇華」——ジャン・ナベールとフロイト精神分析」

B会場(第6講義室)【司会：①②澤田直、③④岩野卓司】

① 9時40分 - 10時20分

加賀谷昭子「(触覚)としての被災者の語り——レヴィナスの言語観を手がかりに」

② 10時20分 - 11時00分

宮澤由歌「ジオルジュ・バタイユのエロティシズムの概念化——女性性の表象を手がかりに」

(休憩)

③ 11時10分 - 11時50分

横田祐美子「知られざるものを知られざるままに——バタイユにおける非-知、思考の運動」

④ 11時50分 - 12時30分

井岡詩子「ジョルジュ・バタイユにおけるサド——「否定」と意識について」

C会場 (第7講義室) 【司会：②③④米虫正巳】

① —————

② 10時20分 - 11時00分

三宅岳史「ベルクソンとドリーシュの目的性概念」

(休憩)

③ 11時10分 - 11時50分

宇佐美達朗「シモンドン哲学における普遍と関係——「関係の実在論」について」

④ 11時50分 - 12時30分

霜山博也「シモンドンの情報システムによる技術の起源の探求」

D会場 (第5講義室) 【司会：①②安孫子信、③④村上靖彦】

① 9時40分 - 10時20分

Hisashi MATSUI, « La théorie cellulaire et la critique du polyzoïsme :
le problème de l'individualité biologique »

② 10時20分 - 11時00分

Shigeo KAWAGUCHI, « Une herméneutique avant-gardiste de Ricoeur : vers un autre réalisme ? »

(休憩)

③ 11時10分 - 11時50分

Eriko SUENAGA, « Le positionnement de l'« intentionnalité sans vision »
dans la phénoménologie lévinassienne »

④ 11時50分 - 12時30分

Tetsuo SAWADA, « Illusion et apparence :
Sur la nouvelle fondation de la phénoménologie chez le jeune Richir »

2. 理事会

日 時： 12時45分～13時45分

会 場： 第三演習室 (8階建ての建物の2階)

3. シンポジウム

日 時： 14時～17時

会 場： 第1・第2講義室 (別棟2階建ての1階)

テーマ (動物の哲学)

司 会： 金森修

発表者： 清水高志、檜垣立哉、金森修

4. 懇親会

日 時： 18時～20時

場 所：カンフォアラ (http://www.s-coop.net/shop_info/yoshida_head/camphora/)

会 費：一般5000円/学生3000円

*懇親会参加者は、3月10日までに、事務局のアカウントへその旨をメールしてください。

☆ お知らせ

- ・「日仏哲学会若手研究者奨励賞」が設立されました。次号の機関誌（19号）掲載論文から適用されます。（下記が規定になります。）

「日仏哲学会若手研究者奨励賞」規程

1. 次年度開始時（9月）に発行予定の『フランス哲学・思想研究』に掲載が決定された公募論文に基づいて選考を行なう。
2. 公募論文の投稿締切時点（当該年度の12月31日）で40歳以下の者を選考対象とする。
3. 掲載が決定された公募論文執筆者で2.に該当する者の中から、編集委員会が候補者を1名選定し、理事会で承認・決定する。
4. 表彰式を次年度開始時（9月）の秋季大会の総会時に行なう。
5. 表彰式出席のための交通費（日本国内に限る）が必要な場合は学会が補助する。
6. 正賞として賞状、副賞として3万円を授与する。
7. 受賞できるのは1回のみ。

付帯事項（内部運用規程）

- a. 5.の交通費規程に関して、常勤職にある者（任期付きを含む）、学振PD研究員は、原則として補助対象者から除く。
 - b. 5.の交通費規程、6.の副賞規程に関しては、今後の財政状況を考慮し、現役員体制が終わる2016年夏を目処に、金額の引き下げや廃止も含めて再検討する。
- ・一般研究発表におけるフランス語での発表の導入について

次回2014年秋季研究大会から、正式に一般研究発表におけるフランス語での発表が導入されることが決定いたしました。それに先立ち、今回の2014年春季研究大会でも、一般研究発表の追加募集というかたちで、試験的にフランス語での発表を受けつけたところ、追加募集としては十分な申し込みがあり、手ごたえを感じております。次回以降も、フランス語での発表にふるってご応募ください。

- ・一般研究発表応募要旨の字数を改訂いたしました

このたび、一般研究発表応募要旨の字数を、2015年の大会からは1200字に改定いたします。また、フランス語での発表応募要旨は300motsとなっております。

- ・春季研究大会でも会費を納入いただけるようになりました

これまで秋季研究大会の会場での直接のお支払か、郵便振替でのみ受け付けておりました会費の納入ですが、春季研究大会の会場でもお支払いいただけるようになりました。2014年春季研究大会@京都大学に参加予定の方で今年度の（あるいはそれ以前の）会費が未納の方は、会場でのお支払が便利です。

【日仏哲学会事務局】

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-2 大阪大学人間科学研究科 檜垣研究室内

e-mail: sfjp-jim@hus.osaka-u.ac.jp

郵便振替口座記号番号：00120-6-194046 / 加入者名：日仏哲学会

別紙 マップ (京大HPより)

